

図7. 島根県浜田市における標高区分別の水田放棄面積率.

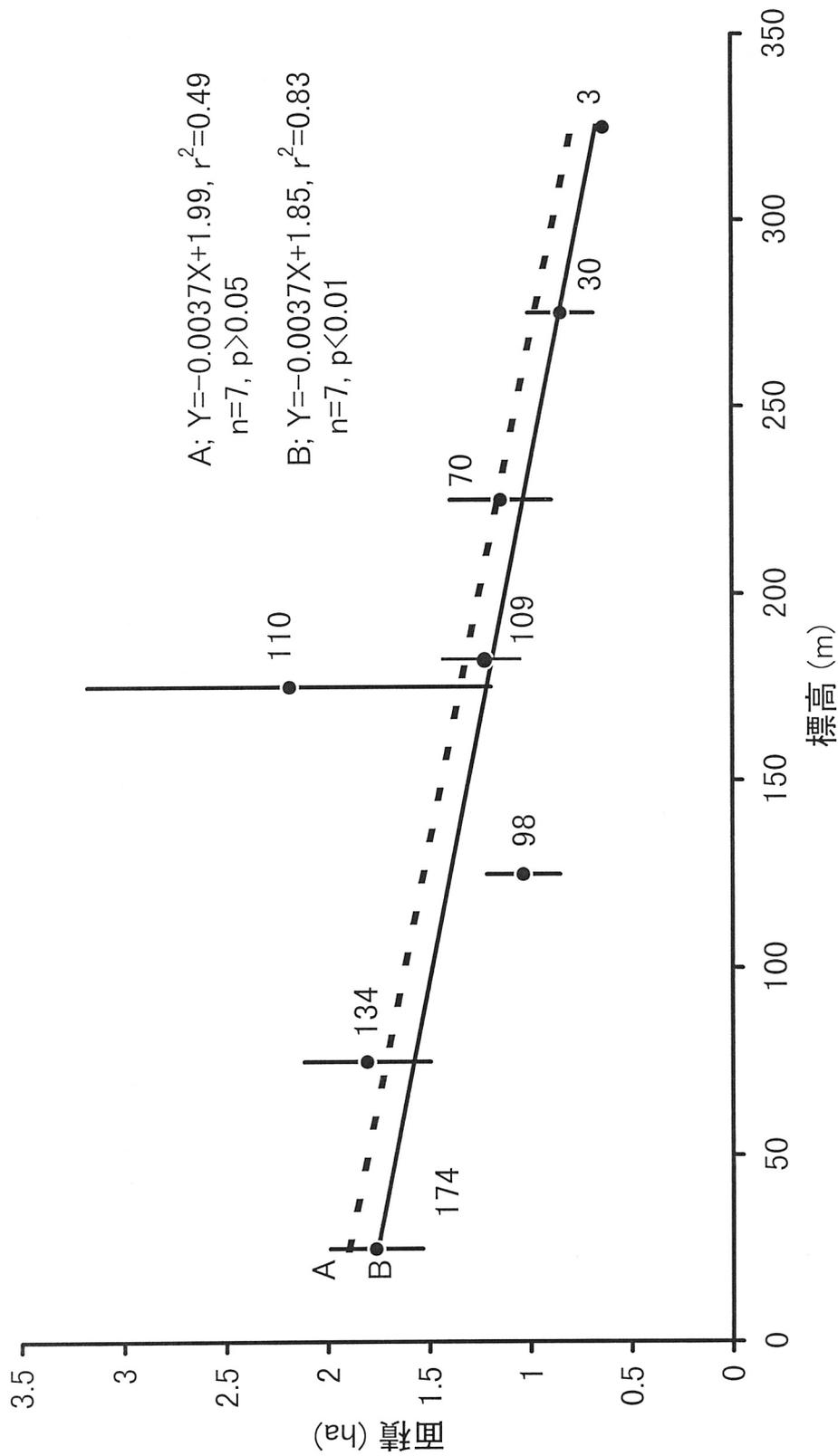


図8. 島根県浜田市における1985年の水田面積と標高の関係, Aは全ての水田の面積, Bは標高165mにある108.5haの水田を除いたもの.

●は平均値, 縦棒は標準誤差, 数字は地点数を示す.

やはり標高が高いところほど水田面積が小さかった(表5)。このことから高標高地域ほど小規模水田が多く、放棄され易いといえる。その結果、水田放棄地隣接率も標高と共に増加していた(図9,  $n=7$ ,  $r^2=0.66$ ,  $p<0.05$ )。一方、水田放棄地隣接率と水田面積の間には相関が見られなかった( $n=11$ ,  $r^2=0.03$ ,  $p>0.05$ )。

2000年度に島根県でイノシシによる被害が発生した水田は844箇所、被害を受けた筆の面積の合計は60.6haであった。この内795箇所(94.2%)は面積1ha未満の水田で、被害面積は55.2ha(91.0%)となった。被害率は下記の指数関数で回帰され(図10,  $n=844$ ,  $r^2=0.87$ ,  $p<0.0001$ )、水田面積が1ha未満になると急増した。

$$y=0.14x^{-0.5639}$$

x; 被害を受けた水田の面積(ha)

y; 被害率

浜田市内で確認された305箇所の水田放棄地のうち、草刈りが行われていたのは9箇所(3.0%)のみであった(表6)。放棄地の土壌水分状態は、乾性が228箇所と最も多く(74.7%)、湿性は62箇所(20.3%)、乾湿混在は15箇所(4.9%)であった(表7)。しかし、乾性の水田放棄地においても109箇所

表5. 1999年の島根県浜田市における面積, 標高別の水田数.

標高	水田数(%)		合計
	水田面積		
	4ha未満	4ha以上	
200m未満	425 (75.1)	36 (6.4)	461 (81.4)
200m以上	103 (18.2)	2 (0.4)	105 (18.6)
合計	528 (93.3)	38 (6.7)	566 (100.0)
$\chi^2$ -test	p<0.05		

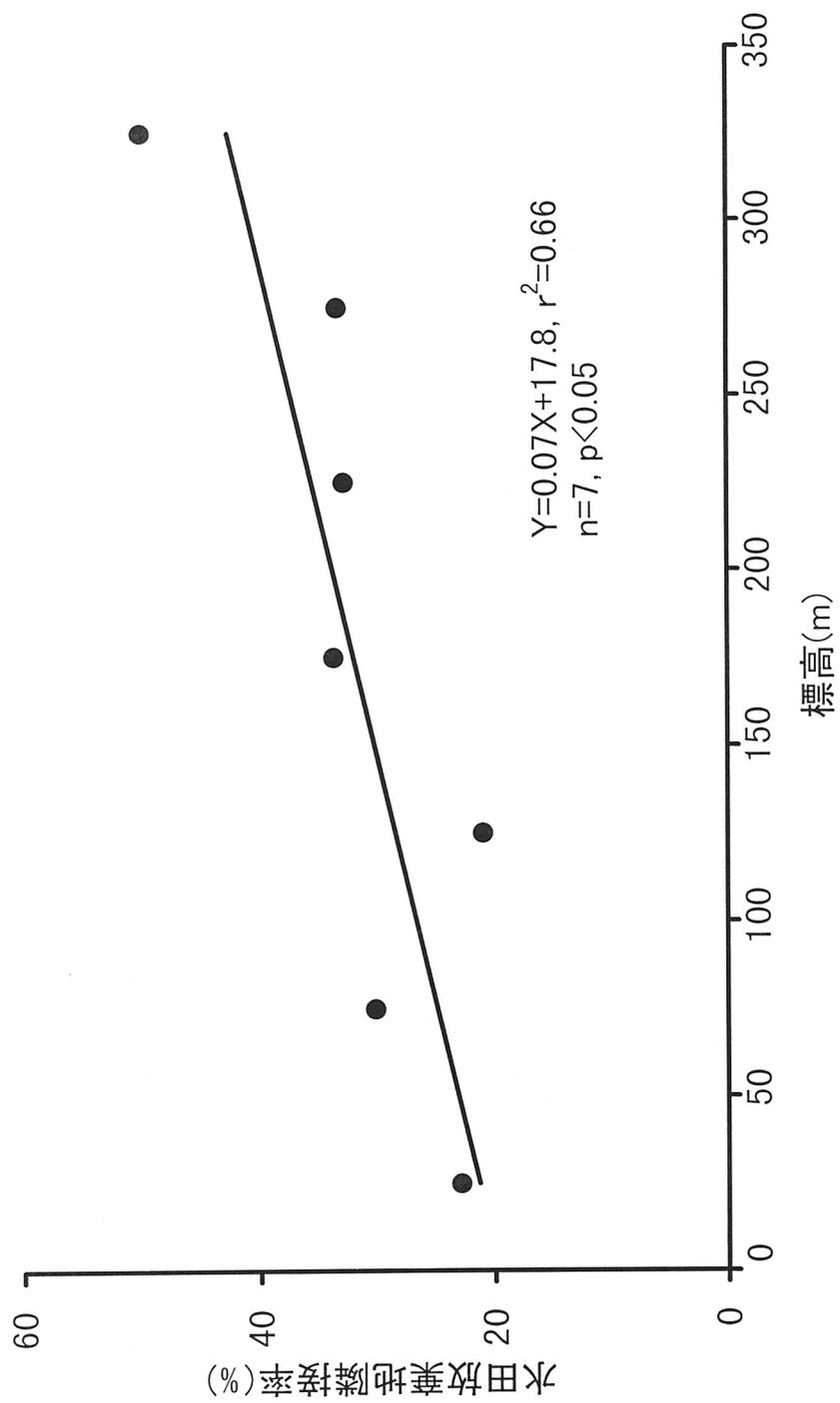


図9. 島根県浜田市における標高別の水田放棄地隣接率.